



# 熊本県感染症情報(9月17日～9月23日)



KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 0	1	百日咳	↓ 0	1
RSウイルス感染症	↓ 124	128	ヘルパンギーナ	↓ 24	39
咽頭結膜熱	↓ 21	43	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↑ 27	25
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↓ 19	20	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 164	201	流行性角結膜炎 (はやり目)	↓ 12	21
水痘	↑ 36	19	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 12	18	無菌性髄膜炎	↑ 1	0
伝染性紅斑 (りんご病)	→ 3	3	マイコプラズマ肺炎	↑ 6	2
突発性発しん	↓ 38	45	クラミジア肺炎	↑ 1	0

報告が多い  
感染症

- ☀ 感染性胃腸炎
- ☀ RSウイルス感染症
- ☀ 突発性発しん

● 感染性胃腸炎は、報告数164件(前週報告数 201件)と減少。  
地区別では、山鹿、有明、宇城に多く報告がみられます。  
年齢別では、1歳の33件を最多に幅広い年齢層からの報告です。

● RSウイルス感染症は、報告数124件(前週報告数128件)と減少。  
地区別では、有明、熊本、宇城に多く報告がみられます。  
年齢別では、1歳の52件を最多に4歳以下からの報告です。

● 突発性発しんは、報告数38件(前週報告数 45件)と減少。  
地区別では、八代、菊池、人吉に多く報告がみられます。  
年齢別では、6～11ヶ月齢の23件を最多に2歳以下からの報告です。

## ◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズ マ肺炎	クラミジ ア肺炎
熊本市保健所	59	14	11	28	15	3	1	11	3	10	8	1	2	1				
山鹿保健所				17				1			4	*	*					
菊池保健所	10	5		13	6	3		6			1		3					
阿蘇保健所				1	1							*	*					
御船保健所	1			4								*	*					
八代保健所	4			1	12	5		2	7			1						
水俣保健所	4			1	8	1		1				1	*	*				
人吉保健所	7			1	12			4			7		*	*				
有明保健所	22			2	42	1		3			1	1	1		4			
宇城保健所	10	2		24	1	5		3			1	5						
天草保健所	7			3	10			2			11	5						
計	0	124	21	19	164	36	12	3	38	0	24	27	0	12	0	1	6	1

## ◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 ヶ月	6~11 ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳 以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	0~5 ヶ月	6~11 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	124	23	25	52	18	2	4	3	2	2	2	2	1									
咽頭結膜熱	21			5		4	3	2	2	2	2	1										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19				1	4	5	3	1				3	2								
感染性胃腸炎	164	6	21	33	15	12	9	11	12	7	4	4	21	2	7							
水痘	36	1		9	12	6	4	2			1		1									
手足口病	12		2	5	1	3	1															
伝染性紅斑	3				1				1		1											
突発性発しん	38	1	23	13	1																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	24		1	5	4	8	1	1	3			1										
流行性耳下腺炎	27				3	3	4	4	6	2	2	2	1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5 ヶ月	6~11 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	12									1			1			6	2	1			1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1				1																	
マイコプラズマ肺炎	6			1	4	1																
クラミジア肺炎	1				1																	

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

- ☀ 咽頭結膜熱:菊池
- ☀ ヘルパンギーナ:天草

RSウイルス  
感染症が  
流行中です!



今週は、RSウイルス感染症がわずかに減少しました。熊本市は減少しましたが、菊池、御船、八代、人吉、宇城、天草では、まだまだ増加中です。RSウイルス感染症は、冬季に流行する感染症ですが、今年全国的に例年よりも早い流行の立ち上がりです。本県では、過去5年間の同時期と比べ最多の報告数となっています。年齢別では、2歳以下が9.5%を占めています。

症状は一般的に、鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快します。2歳頃までに、ほぼ全ての人がかかりますが、初めてかかった場合、約3分の1に細気管支炎や肺炎などを起こします。特に生後6ヶ月以内の乳児や、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳幼児では重症化しやすいので注意が必要です。また、一度感染しても再び感染することもあります。ウイルスは咳やくしゃみのしぶきから感染します。流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない、症状のある家族はマスクをする、外出後の手洗いをきちんと行うなど、乳幼児のいる家庭では、家族全員で予防しましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課